学校番号	1302

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　改訂版　新公共　（第一学習社）						
副教材等	使用教材なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代において起きる様々な事象に興味・関心を持ち、様々な角度から考察できるように学びます。また、現代のニュースや身のまわりの事象などを用い、それについて自分の考えを表現するとともに、周囲の考えを知る機会を多く設け、当事者意識をもつことができるようめざします。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】

現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などして、活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に公正に判断する力を身につけるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについて自分の考えを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共の扉	・公共的な空間をつくる私たち ・公共的な空間における人間としてのあり方生き方 ・政治参加と公正な世論形成 ・国際社会と国家主権 ・日本の安全保障と防衛 ・国際社会の変化と日本の役割	a:自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 b:公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 c:公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
2学期	社会の形成に参画する私たち	・雇用と労働問題 ・社会の変化と職業観 ・市場経済の機能と限界 ・金融のはたらき ・財政の役割と社会保障 ・経済のグローバル化	a:雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:分野の基本的人権とも関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
3学期	社会づくりの主体となる私たち	・持続可能な社会づくりの主体となる私たち	a:これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。 b:これまでの学習を関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度